シルバーだより

いきがい

発 行

公益社団法人

佐用町シルバー人材センター

広報編集委員会

〒679-5301 兵庫県佐用郡佐用町佐用 1035-14 TEL (0790) 82-3630 FAX (0790) 82-3034

ホームページアドレス <u>http://sayosilver.sakura.ne.jp</u>



主な内容

- ・ 新体制発足・理事長挨拶
- · 平成 24 年度総会開催
- · 永年会員表彰 24 年度新役員
- · *会員安全大会*
- ・ 「福祉・家事援助サービス研修」受講生募集
- ・ 会員募集、原稿募集、配分金お支払のお知らせ
- ・ 会員親睦旅行について・編集後記



公益社団法人として発足

会員の皆様へ



理事長 保田彰則

上げます。ターの運営にご協力・ご支援賜り、感謝申し会員の皆様には、佐用町シルバー人材セン

いたしました。

公益社団法人として、最初の定時総会を開催は県より公益社団法人の認可を受け、五月ににの四月に佐用町シルバー人材センター

待されています。 特されています。、これから更なる活動が期 求められており、、これから更なる活動が期 活力ある地域社会づくりに貢献することを がな経験と能力を生かし、働くことを通じて かな経験と能力を生かし、働くことを通じて がはいるのを通じて

ます。
理解・ご協力賜わりますようお願い申し上げりますので、会員の方々におかれましてもごりますので、会員の方々におかれましてもい

平成二十四年度定時総会開催

盛大に開催されました。としてお迎えし、多数の会員の出席により十日(水)に庵逧町長、西岡議長を御来賓ターの平成二十四年度定時総会が、五月三ターの平成二十四年度定時総会が、五月三公益社団法人として認可を受け、当セン

引続き、総会議長に大西喜久一氏を選出御来賓の方々より祝辞を頂きました。発展に寄与された永年会員十三名の表彰と発展に理事長の挨拶のあと、当センターの

なく総会を終了しました。最後に、有本副理事長の閉会の辞で滞り

ての報告と議案が承認されました。

総会次第に沿って議事が進められ、

全



定時総会報告と議案

第一号報告

一号議案平成二十三年度事業報告

第

平成二十三年度収支決算

役員選任について第二号議案

第三号議案

理事長に対する権限委任について



常任理事、事務局長改選について

八郎氏が就任されました。
後任の常任理事兼事務局長に大久保
六月三十日付で退任されました。
五月三十一日付で、理事高見俊男氏が
五月三十一日付で、理事高見俊男氏が

安全適正就業について

てています。
意識の向上と事故防止を図ることを目的として推進計画を立健康を確保するため事業計画を策定し、安全適正就業に対する全適正就業推進委員会要綱」に基づき、会員の安全適正就業と兵庫県シルバー人材センター協会では、「平成二十四年度安

うに計画を立て安全適正就業を推進します。当シルバー人材センターも県の推進計画に基づいて、次のよ

、安全・適正就業委員会の開催(年四回)

剪定作業時・・繁忙期 安全パトロールの実施

草刈作業時・・繁忙期二回以上剪定作業時・・繁忙期二回以上

受注状況の把握(危険な作業受注の把握)

三、事故ゼロ運動の把握

(東東) はいるというでは、ままでは、「大学」では、「大学」では、「大学」が、

ます。 毎年全国では会員が就業中、就業途上で、尊い命を失ってい

平成二十三年度の事故内容は左記の通りです。

兵庫県・四十四件(死亡事故ゼロ、入院十日以上四十四件)全 国・三十七件(死亡事故二十八件、入院六ヶ月以上九件)

て下さい。 原因を再認識して事故ゼロの作業に注意、努力をし防ぐことが出来た事故ばかりです。全会員が事故のはんのわずかな注意や、安全意識を持っていれば、

||蜂刺され、蛇等に注意が必要です。状況把握が大切で ||蜂刺され、蛇等に注意が必要です。状況把握が大切で||特に暑い時期には怪我だけではなく、<mark>熱中症や、</mark>

作業をお願いいたします。 安全はすべてに優先することを常に意識し、

「福祉・家事援助サービス研修」受講生募集

町シルバー人材センターへお問い合わせください。催します。受講される方又は詳細については、佐用等を目指して左記の通り六回コースで、研修会を開祉・家事援助事業」推進のため、知識習得・技術向上(公社)兵庫県シルバー人材センター協会では「福

研修期日

五日、十一月一日、十一月八日いずれも午後より九月二十七日、十月四日、十月十八日、十月二十

申込締切日・・九月十四日(金)会場・・姫路市自治福祉会館・飾磨市民センター。

安全就業への取組(事故ゼロ運動)

◆安全委員による就業現場巡回を行っています◆

安全標語・・・「気を抜くな 慣れと過信は 事故のもと」

け 進 織 \mathcal{O} に

き お

ル い に

Y

材

セ

タ

1

 \mathcal{O}

入

숲 に \mathcal{O} ル

を お 運

継 態

続

向

け

て

新

会

加

促

進

動]

促 組 足 化

願

致 バ

L 1

ま

す。

友

人、 員

知

人

 \mathcal{O}

方

声 御

掛 勧

下 頂 を \mathcal{O} 実 ょ

さ

局 n

舟稲保坂越大~横保小岡山高植~のりづ 永 引谷木口本内十本田原沢根井田十方セき正年 貞和松ヒ年一彰春藤邦久昭五がン 員員 表彰|五の表 さの年、 永 彰 れ発 及 展び表 た。 寄年に 与 以 関 上す れのる た長基 十き準 三にに 名亘基

常

任

玾 事 長

事 長

八

郎

郎

副理平

理事成

長彰役

治則員

四

七

月

日

現

在

夫隆美雄男サ**表**美則雄子子美一年表夕十 三南佐佐 日日日日 月月月月光用用

地地地地地地地 区区区区区区

紙

明

春

小

春 敏

配 監監理理 理 理

分 金 支 払

日

宅

賢 忠

本 原 上 名 口 本 﨑 田 久 本

夫

九 八 月 月 + +五 四 五 日 日 · 金 水

+ 月 月 + +五 日 日 木

月 月 ++四 五 日 日 灾 へ 金

数

 \mathcal{O}

推

移

新

員

募

集

促

は 力

近

年

 \mathcal{O}

슾

年

齢

 \mathcal{O}

高

齢 不

増

強

に

こご 協

0 会

て

会

< い

な

る

傾

向

に 員

ŋ

材

が

出 退

て

き が

て 多 進

ま

す。

明

日

0)

シ

バ

平成 14 年度・・・200 名 平成 15 年度・・・196 名

平成 16 年度・・・183 名

平成 17 年度・・・185 名 平成 18 年度・・・185 名 平成 19 年度・・・201 名 平成 20 年度・・・196 名

坂 寺 尾 植 大 有

和

创 雄

理 理

事 事

義 保 昭 保

弘 夫

お ☆ ☆

セ

タ

]

務

局

ま

で、

成

+

兀 事

月

平成 21 年度・・・198 名 平成 22 年度・・・192 名

平成 23 年度・・・190 名

寄シ原等自ま原シ員 己す稿ルの 体のをバ原 で次1 のだ 随投よよ 筆稿より をなっ 短 お内い 願容き しでが 俳 ま募い 句 集一 写 し 6 真 て号

ないの

せル稿 て員 くバ締 だ | 切 睦 さ人日 い材平 行 は 秋 頃 の 月 程 画

お親 ŋ ま旅 す。 待 さ

のせと早 し会り機務編えがっま投しす三私編 てた稿てる年達 をまそ目の集 募いのと機 つり他な関後 てま行 り いし事 ま「 また 紹のすが、 き 9 更い総が て会い に 皆もを 様おは発 か知じ行 ららめも

考と張 11 本 る 年 方度 借命で加 Þ み カュ あ ぜ Ł に 6 り L ま て介新 %もし制 11 らた度 る えりの 私 れす中 達 ばるで ŧ, とこ頑

あた事 ま員ま関局集る のす紙の委 皆 様 \mathcal{O} る ょ 指 なら う ダがれ 導 5 力 す 協 ょ る り 力 所 充 を お 存 実 でし 願

広 報 委 員

祐井舟西 保上引﨑 俊 良 光 彦薫基男

